

学 園 報

No.48

富山国際学園 URL <http://www.tii.ac.jp/>
 富山国際大学 URL <https://www.tuins.ac.jp/>
 富山短期大学 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/>
 富山国際大学付属高等学校 URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>

富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/info/midorino/>
 社会福祉法人富山国際学園福祉会にながわ保育園 URL <http://www.tkfkushikai.or.jp/ninagawa/>
 社会福祉法人富山国際学園福祉会西田地方保育園 URL <https://www.tkfkushikai.or.jp/nishiden-hoiku/>

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市瀬海寺水口444
 TEL/076-436-5139
 FAX/076-436-5444

デジタル化の遅れ



理事長
金岡 克己

DX という言葉を耳にする機会が増えました。もともとは企業情報の世界で使われる用語です。古くはEDPS (Electronic Data Processing System) にはじまり、1960年代のMIS (Management Information System)、SIS (Strategic Information System)、BPR (Business Process Reengineering) など、ITの革新的な技術進歩に合わせ、情報システムに関する数多くの概念、用語が生み出されてきました。

DXのDはdigital、Xはtransformationの略です。transはcrossと似た意味を持ち、crossの略Xで代用されるようになりました。DXとは文字通り、デジタル技術を用いた企業、社会の変革を意味しています。

最近、もう一つ耳にする言葉があります。デジタル化の遅れという言い方です。ITに携わってきた立場から言えば、この表現は大きな誤解を孕んでいると思います。現代日本において、局面ごとのデジタル化は着実に進展しています。例えば、TVの地上波は2003年にデジタル化が開始され、2011年にアナログ放送が停止されました。アナログからデジタルへの切り替えにより、電波の周波数帯の有効利用が進んでいます。

また、スマートフォンの利用可能エリアはほぼ全国を網羅、その普及率も先進国有数です。人里離れた山岳遭難に備え、スマホのメール機能やGPS機能を用いることが普通に行われるようになりました。デジタル化の恩恵で、一昔前では考えられないような情景が実現しています。

それでは、デジタル化の遅れとは何を指しているのでしょうか。

一つには、新型コロナウイルスによる小中高一斉休校で明らかになった、教育現場におけるデジタル機器の活用の遅れです。OECD諸国最低との調査報告があります。少子化により15歳未満の子どもの数が

40年連続して減少しているところ、未来を担う子どもたちへの教育の機会がデジタル化の遅れにより大きく失われたのです。一斉休校中、オンライン授業はほとんど実施されませんでした。国家レベルの損失といえましょう。

もう一つは、特に行政組織における縦割りの弊害で、利便性の向上が感じられないことです。昨年5月、東京都の新型コロナ感染者の集計がファックス1台で行われ、ミスが相次ぐ事態が報道されました。データが部門ごとに蓄積され、他部門との相互利用が進んでいないのです。法律を盾に情報を抱え込み、組織のレーゾンデートルとしようとの縄張り意識の反映でしょう。また、情報をオープンにすることが批判を呼び込みかねないとの防衛反応ともいえます。

いずれにせよ、情報の利活用を進め、よりよい社会を築いていくという前向き、利他の姿勢ではありません。自己保身の優先といえるでしょう。

DXで重要なのは、D：デジタル化ではありません。X：トランスフォーメーション（変革）が本質です。現状の業務フローを変えずにデジタル化しただけでは、新たな付加価値は生まれません。デジタル化の遅れが指摘される所以です。情報をデジタル化し、よりオープンにし、相互活用を進め、利便性の高い社会を目指していかなければなりません。

新型コロナにより、デジタル化の遅れ、日本社会の硬直性が明らかとなり、社会変化が加速されようとしています。一刻も早く富山国際学園のDXを進め、よりよい教育環境の構築を通し、その果実を地域社会に還元していかなければなりません。

CONTENTS

- | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------------|-----|
| □デジタル化の遅れ 理事長 金岡 克己 | 1 | □令和3年度入試状況・令和2年度進路状況等 | 5 |
| □特集1 TUINSスマートキャンパス構想 | 2 | □学園退職者・新任者一覧 | 5 |
| □特集2 本校における英語ディベート活動について | 3 | □令和3年度予算概要 | 6～7 |
| □特集3 魚津漁業協同組合との産学連携協定 | 4 | □学園NEWS | 8 |

TUINS スマートキャンパス構想

富山国際大学 学長 高木 利久

富山国際大学は1990年に富山市郊外の東黒牧の地に誕生しました。現在現代社会学部が2008年よりこの地で教育研究活動を展開しています。東黒牧は緑豊かな丘陵地で、そこに南欧を思わせるオレンジ屋根の建物が点在しています。欧米の大学のような、塀や囲いのない開放感あふれるキャンパスとなっています。学生が勉学に励むには、また、教員が研究に勤しむには、とても素晴らしい環境です。しかしながら、市内からの交通アクセスが良くないこと、2009年に設立された子ども育成学部のある呉羽キャンパスとの往来に時間がかかることなどの問題を抱えています。また、東黒牧の建物や設備が古くなっていて、ここで快適な学生生活が送れるとは言えない状況にあります。情報環境や種々の情報システムも適時更新してきてはいますが、残念ながら最先端とは言えません。

そこで、私は2019年7月の学長就任以来、呉羽キャンパスも含め、キャンパス全体を持続可能性を備えた次世代志向のものに変身させるべく努力を重ねてきております。建物そのものは簡単には建て替えできませんが、設備やソフト面での充実を図る所存です。現状は次世代型と呼ぶレベルには至ってはおりませんが、TUINS スマートキャンパス構想という名の下にさまざまな取り組みを随時進めております。以下ではその一端をご紹介します。

(1) 世界とつながるキャンパスへ

本学では昨年春の新型コロナウイルス感染症の蔓延に対応するために、オンライン会議システムZOOMをいち早く導入し、昨年4月より遠隔授業に使っております。現在はキャンパスの3密対策も整ったことから授業は対面が中心ですが、例えば今年1月の大雪の時など必要に応じて遠隔授業を実施しております。また、教授会を初めとした学内のほとんどの会議はZOOMで行われており、二つのキャンパスの物理的距離は克服されつつあります。国内外の著名な講師による授業やセミナーなども遠隔で実施しており、

オンライン留学も含め、まさに世界とつながるキャンパスとなっております。今後はネットワークの対外接続の高速化などにより、世界をもっと身近に感じられるようにしたいと考えております。

(2) 毎日通いたくなる快適なキャンパスへ

遠隔授業の環境は整備されたとは言え、学生がキャンパスにきて仲間や先生と直に触れ合う機会を持つことは大学にとって不可欠のものです。そのためには快適に過ごせるキャンパスが必要です。東黒牧キャンパスの近くにはこれまでコンビニがありませんでした。そこで、今年の6月を目処に食堂の横に売店を開設する準備を進めております（呉羽キャンパスにはすでに存在しています）。この売店はキャッシュレスで利用でき、蓄積された購買データを学生の経営学実習に活用する予定です。行く行くは最新のデジタル技術を用いて売店の無人化を進める予定です。これ以外にも東黒牧キャンパスでは、食堂などのキャッシュレス化やトイレの洋式化（シャワー付き）、IT教育専用教室の整備、学生居室の整備、なども今年の秋から冬くらいまでには実現したいと考えております。さらに、時期は未定ですが、授業の出欠などさまざまな場面で使えるスマホ学生証も導入を検討中です。

(3) 次世代型のキャンパスに向けて

上記の実現済み、あるいは、近いうちに実現予定のもの以外にも構想中のものがいくつかあります。例えば、無人運転のシャトルバスを最寄りの駅まで、あるいは、二つのキャンパス間に走らせたいと考えています。また、カーボンニュートラルに向けた地域資源の活用などのSDGsの推進、5Gの導入、などさまざまな面で世界の先端に行くキャンパス作りを目指しております。他にも何かアイデアをお持ちの方がいらっしゃいましたらお教えいただければ幸いです。積極的に取り入れたいと思います。関係する皆さまのご支援ご協力を切にお願いする次第です。

本校における英語ディベート活動について

富山国際大学附属高等学校 教諭 ワン ローレンス
宮永 有季

現在の活動に至るまで

本校における英語ディベート活動は富山県大会に参加した2012年より始まった。2度目の県大会では優勝を収め、全国大会への参加権を獲得した。初めての全国大会は出場校64校中56位という結果に終わったが、その年から現在にいたるまで全国大会への連続出場を果たし、56位から41位、21位、11位、5位と着実に順位を上げ、7回目の挑戦である今年度は準優勝に輝いた。5名から始まった本活動も、現在は50名以上が参加する大規模なものへと拡大した。

全国大会に向けての準備活動

ディベート活動は現在、本校国際英語コースのカリキュラムに組み込まれている。1年次には語彙構築、スピーキング、英検準2級の取得に重点を置き、冬期ディベート大会に参加した。2年次は即興型ディベート対策に特化し、週2回実戦形式でディベートを行った。経験を重ねるため、国内はもちろん海外で開催されるディベート大会にもオンラインを活用し積極的に参加した。今年度はPDA 高校生即興型英語ディベート全国大会で5位入賞を果たした。

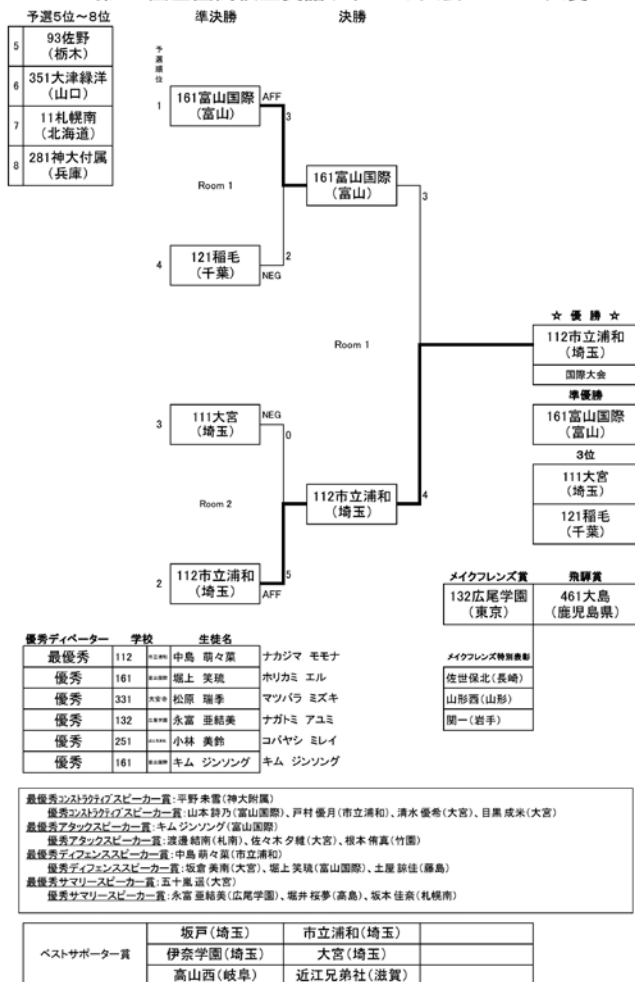
3年次は集大成として、全国高校生英語ディベート大会に出場した。今年度の論題は「日本政府は、ハイブリッド車も含む化石燃料車の製造と販売を2035年までに禁止すべきである。」というものであった。

アカデミックディベートではすべての主張を裏付ける証拠とデータが必要不可欠であり、そのデータ数は200以上にも及ぶ。新型コロナウイルスの影響を受け対面での練習ができない中も、ZOOMを活用して県外の高校と練習試合を重ねた。日々戦略を立て、データを調査して原稿を作成し、より良い議論を行うために数え切れない程の時間を費やした。全国メンバーである垣内あいさん、金鎖成さん、堀上笑琉さんがチームの統率を図り、全国大会出場、準優勝を果たした。さらには金さん、堀上さん、そして山本詩乃さんは個人賞も受賞した。

今後の活動について

これまでの活動を通して、着実に国際英語コースの中で英語ディベート活動の伝統を構築することができた。上級生から下級生への指導も定着し、自主練習に励む生徒もいれば、他学校との合同練習に励む生徒もいる。今後の目標として「全国大会ベスト8」の成績を継続することを掲げている。しかしそれ以上に、ディベート活動によりリサーチ力、情報処理能力、英語4技能、論理的分析力、批判的思考力、そして世界規模の諸問題への知識を養うことができる。今後もディベート活動を入り口として、授業の枠を超えて生徒を育成する指導を行っていききたい。ディベートの論題のような困難な課題に向き合うことで、グローバル社会で活躍できる人材に成長することを願っている。

■第15回全国高校生英語ディベート大会“Online”入賞



魚津漁業協同組合との産学連携協定

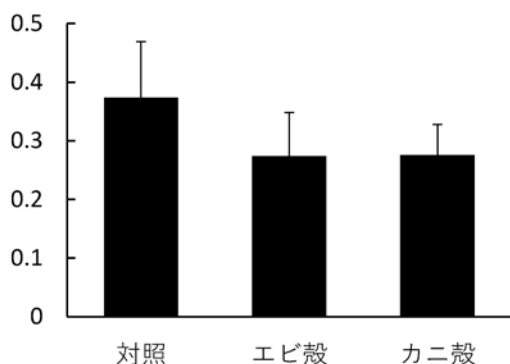
富山短期大学 食物栄養学科 学科長 竹内 弘幸

2019（令和元）年5月13日（月）、魚津漁業協同組合と富山短期大学との間で産学連携活動を推進するための協定を締結しました。3年間にわたり相互協力をして、呉東地域で獲れる魚介類の価値向上をめざして、「魚介類の新規健康機能性の評価」、「未利用水産物の有効利用を目的として商品開発並びに料理教室」、「魚食の普及」などの連携事業を実施しています。これまでの約2年間の活動概要について、ご報告いたします。

魚介類の新規健康機能性の評価

カニの甲羅やエビの殻には、多糖類の一種であるキチンが豊富にふくまれています。キチンの健康機能には、コレステロール低下などが期待されるといわれていますが、科学的なデータはほとんどありません。そこで、カニやエビの殻を実験動物に摂取させて、血中コレステロール濃度への影響について調べました。その結果、エビの殻やカニの殻を摂取したラットの血中LDL-コレステロール濃度は、対照食と比べて有意に低い値となり、動脈硬化指標（LDL-コレステロール/HDL-コレステロールの比）も有意に低くなりました。これらの結果は、動物実験レベルではありますが、エビやカニの殻が、動脈硬化症の予防素材として期待されることを示唆しております。今後は、さらに詳細な実験を進めて、メカニズム等について究明し、学会発表や論文発表などを行っていく予定です。

動脈硬化指標に対する影響



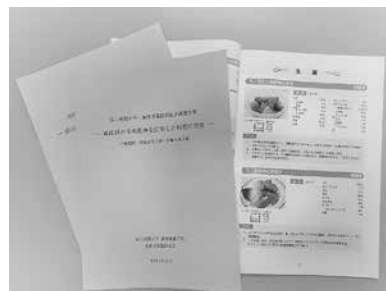
富山県の未利用魚を活用した料理の開発

SDGs（持続可能な開発目標）には、「海の豊かさを守ろう」という目標があります。豊かな水産資源を無駄なく食べることを目的に、未利用魚を活用したメニュー開発に取り組みました。富山湾には約500種の魚が生息し、約200種が水揚げされています。1年目は、ぶりの端材およびミンチの活用をテーマにしました。形が整うと高級な市販品ですが、端材は未利用魚です。見方を変えて、味と栄養価は「ぶり」、刻む操作がないという利点を生かした料理を開発し試食会をしました。中でも好評だった「ブリバーガー」は商品化に向け試作会を行い、全日本大学女子野球選手権大会の前夜祭に提供してPRをしました。現在、パテにした「ぶりカツ」は人気の商品として定着してきたそうです。そのほか、料理教室で



好評だったブリバーガー

の秋刀魚の料理紹介や、越中とやま食の王国でのデモンストレーションなど、広く県内に普及するように努めました。また、食物栄養学科生の卒業研究では、学生目線で未利用魚の料理開発を行いました。これら1年間の活動を料理集としてまとめました。2年目は、漁獲量が多かったのにコロナ禍で外食等の需要が激減した「ホタルイカ」をテーマにしました。富山湾の特産品ですが、食感が苦手な子ども向けに料理方法の工夫を重ね、試食会をしました。レシピは魚津漁業協同組合へ提供し、学校給食向けに活用してもらいました。令和3年は仕上げの年です。新たな料理開発を含め、料理集の発刊をめざしています。



これまでに開発したレシピ

令和3年度入試状況

大 学

(令和3年4月5日現在)(単位:人)

学 部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
現代社会	120	306	305	261	113
子ども育成	90	320	320	223	104
合 計	210	626	625	484	217

短 大

(令和3年4月5日現在)(単位:人)

学 科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
食物栄養	80	131	130	118	89
幼児教育	80	135	134	124	84
経営情報	110	178	177	165	108
健康福祉	40	34	34	39	26
食物栄養専攻	15	19	19	16	16
合 計	325	497	494	462	323

※健康福祉学科の合格者数には、第二志望合格者を含む

高 校

(令和3年4月8日現在)(単位:人)

コース	募集人員	出願者	受験者	入学者
国際英語コース	2クラス	174	171	52
特 進 コ ー ス	2クラス	466	464	64
フロンティアコース	5クラス	400	399	168
合 計	9クラス	1,040	1,034	284

令和2年度進路状況

(令和3年5月1日現在)(単位:人)

学 部	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
現代社会	102	89	89	100.0	1
子ども育成	114	106	106	100.0	5
合 計	216	195	195	100.0	6

(令和3年5月1日現在)(単位:人)

学 科	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者	研究生
食物栄養	85	78	77	98.7	4	
幼児教育	89	88	88	100.0	1	
経営情報	129	124	124	100.0	4	
健康福祉	42	36	36	100.0	5	
食物栄養専攻	9	1	1	100.0	0	8
合 計	354	327	326	99.7	14	8

(令和3年3月31日現在)(単位:人)

大 学	合格者	入学者	短期大学	合格者	入学者	その他	合格者	入学者	卒業生
富山国際大学	39	24	富山短期大学	27	26	専修各種学校	51	49	300
国公立大学	21	16	公立短期大学	0	0	就 職	25	25	
他の私立大学	219	143	他の私立短期大学	12	10	そ の 他		7	
合 計	279	183	合 計	39	36	合 計	76	81	

令和3年度入園児童

幼稚園

(令和3年4月1日現在)(単位:人)

	男	女	合計
3歳児	12	12	24
4歳児	2	0	2
5歳児	0	2	2
合計	14	14	28

※新入園児のみ

令和2年度卒園児童

(令和3年3月31日現在)(単位:人)

	男	女	合計
5歳児	20	8	28

◆退職者一覧(令和3年3月31日)

〈学園本部〉石坂 佳美(主幹)
 〈大 学〉尾畑 納子(現代社会学部 教授)
 才田 春夫(現代社会学部 教授)
 仲井 文之(子ども育成学部 教授)
 瀬戸 健(子ども育成学部 教授)
 奥田 秀巳(子ども育成学部 講師)
 金岡 貴裕(事務部 主査)※令和3年1月31日
 〈短 大〉田淵 英一(食物栄養学科 教授)
 立島 真(経営情報学科 教授)
 三上 雅弘(経営情報学科 教授)
 木元 清明(経営情報学科 教授)
 石橋 郁子(健康福祉学科 教授)※令和2年11月30日
 篠田 隆行(経営情報学科 准教授)
 矢部 謙二(事務部 次長)
 沢井 友義(参事・就職支援センター長)
 〈高 校〉中田 靖弘(教諭)
 Darren Hamilton(教諭)
 野口 安正(事務長)

◆新任者一覧(令和3年4月1日付)

〈大 学〉堀川真理子(現代社会学部 教授)※令和2年10月1日付
 大谷 友男(現代社会学部 准教授)
 繁宮 悠介(現代社会学部 准教授)
 梁 庭昌(現代社会学部 助教)
 岩崎 直哉(子ども育成学部 講師)
 山形 隆(入試センター 参事)
 坂野さつき(事務部 主事)※令和2年12月1日付
 〈短 大〉中山 耕造(食物栄養学科 教授)
 小椋 一也(健康福祉学科 准教授)
 山西 宏明(経営情報学科 講師)
 長田 元(経営情報学科 講師)
 水井 修(参事・就職支援センター長)
 中村 萌華(事務部 主事補)
 堂田 萌笑(教務部 主事補)
 〈高 校〉中川 祐人(教諭)
 山田 健司(教諭)

令和3年度 予算概要

令和3年度の事業計画及び予算は、去る3月29日（月）開催の評議員会・理事会において承認されました。

各校の主な事業計画及び予算の概要は以下のとおりです。

【事業計画】

【大学】

- ①教育の質保証の向上をめざし、アクションプランに基づく多様な取り組みを推進
- ②外部資金の積極的な獲得
- ③国際化教育及び情報教育の充実を図り、ITや5Gを活用したスマートキャンパス化を推進【現代社会学部】
- ④保育・教育・福祉の人材育成及び情報教育の推進を図り、現代社会学部と連携したスマートキャンパス化を推進【子ども育成学部】

- ⑤大学改革、新規事業、危機管理などに効率よく対応できる組織作りに着手

【短大】

- ①教育の質保証・向上のための教育改革
- ②地域連携や学生ボランティア活動を推進
- ③支援を要する学生への相談支援の整備
- ④各学科の教育の一層の向上に努め、地域産業と生活向上に貢献する人材育成を推進

【高校】

- ①国際化教育及びICT教育を推進
- ②きめ細かい学習指導の実施
- ③良好な教育サービスの提供のための教育環境整備

【幼稚園】

- ①幼稚園型認定こども園として、新たな幼児教育・保育ニーズに対応した取り組みを推進

資金収支予算書

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで (単位：千円)

		令和3年度予算額	令和2年度当初予算額	差　　異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,997,023	2,102,377	△ 105,354
	手数料収入	37,568	37,554	14
	寄付金収入	1,503	2,503	△ 1,000
	補助金収入	644,920	603,322	41,598
	資産売却収入	1	1	0
	付随事業・収益事業収入	35,838	30,674	5,164
	受取利息・配当金収入	5,220	5,220	0
	雑収入	35,504	64,726	△ 29,222
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	447,020	449,412	△ 2,392
	その他の収入	132,464	144,174	△ 11,710
	資金収入調整勘定	△ 539,922	△ 559,322	19,400
前年度繰越支払資金	1,094,175	1,127,127	△ 32,952	
収入の部合計	3,891,314	4,007,768	△ 116,454	
支出の部	人件費支出	1,652,668	1,666,689	△ 14,021
	教育研究経費支出	647,639	559,185	88,454
	管理経費支出	145,905	157,305	△ 11,400
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	33,679	66,531	△ 32,852
	設備関係支出	33,219	51,391	△ 18,172
	資産運用支出	4,512	4,512	0
	その他の支出	118,500	130,500	△ 12,000
	[予備費]	15,500	15,500	0
	資金支出調整勘定	△ 78,000	△ 112,000	34,000
	次年度繰越支払資金	1,317,692	1,468,155	△ 150,463
支出の部合計	3,891,314	4,007,768	△ 116,454	

事業活動収支予算書

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで (単位：千円)

	科 目	令和3年度 予算額	令和2年度 当初予算額	差 異
教育活動収入	学生生徒等納付金	1,997,023	2,102,377	△ 105,354
	手数料	37,568	37,554	14
	寄付金	3,506	4,506	△ 1,000
	経常費等補助金	644,920	603,322	41,598
	付随事業収入	35,838	30,674	5,164
	雑収入	35,503	64,726	△ 29,223
	教育活動収入合計(1)	2,754,358	2,843,159	△ 88,801
	人件費	1,656,668	1,670,689	△ 14,021
	教育研究経費	962,639	882,185	80,454
	管理経費	149,604	160,304	△ 10,700
教育活動支出	徴収不能額等	2	1	1
	教育活動支出合計(2)	2,768,913	2,713,179	55,734
	教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 14,555	129,980	△ 144,535
教育活動外収入	受取利息・配当金	5,220	5,220	0
	その他の教育活動外収入	1	1	0
	教育活動外収入合計(4)	5,221	5,221	0
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出合計(5)	0	0	0
	教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	5,221	5,221	0
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 9,334	135,201	△ 144,535
特別収入	資産売却差額	1	1	0
	その他の特別収入	3,603	3,503	100
	特別収入合計(8)	3,604	3,504	100
	資産処分差額	8,600	8,600	0
	その他の特別損失	1	1	0
	特別支出合計(9)	8,601	8,601	0
	特別収支差額(10)=(8)-(9)	△ 4,997	△ 5,097	100
	【予備費】(11)	15,500	15,500	0
	基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)	△ 29,831	114,604	△ 144,435
	基本金組入額合計(13)	△ 9,808	△ 60,832	51,024
事業活動収支	当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 39,639	53,772	△ 93,411
	前年度繰越収支差額(15)	△ 2,459,816	△ 2,763,799	303,983
	基本金取崩額(16)	0	0	0
	翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)	△ 2,499,455	△ 2,717,571	218,116
	(参考)			
	事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	2,763,183	2,851,884	△ 88,701
	事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	2,793,014	2,737,280	55,734

【事業活動収支予算】

事業活動収支予算において、収入では、学生生徒等納付金 105 百万円減、経常費等補助金 42 百万円増などにより、事業活動収入計が 2,763 百万円（対前年度当初予算比 89 百万円減・3.0% 減）となりました。

支出では、人件費 14 百万円減、教育研究費 80 百万円増などにより、事業活動支出合計が 2,793 百万円（同 56 百万円増・2.0% 増）となりました。また、基本金組入額 9 百万円余りを差し引いた当年度収支差額は、40 百万円の赤字予算となりました。

【資金収支予算】

資金収支予算において、令和 3 年度の学園が行う諸活動に対応する収入として、学生生徒等納付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、令和 4 年度入学生の前受金収入、令和 2 年度末の未収入金等が計上されてい

ます。一方、支出として、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設設備関係支出等が計上されています。その結果、令和 3 年度の諸活動に対するすべての収入・支出の資金として、3,891 百万円（同 116 百万円減・2.9% 減）が見込まれています。

【学園の財務状況】

学園の財務状況は、単年度ベースでは、昨年に転じて赤字予算となりました。

事業活動収入の中でも大学・短大・高校においては、定員確保しながらも、学生生徒等納付金が前年度を下回ることを見込んだ予算となっているためです。本学園では、学生生徒等納付金と経常費等補助金が、収入の約 95% を占めています。従って、これらの予算を確実に確保しつつ、新たな収入源を確保すること、そして、支出予算の効率的かつ効果的な執行に努めなければなりません。

令和 3 年度部門別事業活動収支予算書

(単位：千円)

活動区分		科 目	法 人	大 学	短 大	高 校	幼 稚 園	総 額
教育活動収支	収入 入業の活動	学生生徒等納付金	0	915,661	695,190	385,392	780	1,997,023
		手数料	0	12,134	13,104	12,300	30	37,568
		寄付金	1	1,502	3	1,000	1,000	3,506
		経常費等補助金	0	138,211	145,102	293,830	67,777	644,920
		付随事業収入	0	13,528	15,810	0	6,500	35,838
		雑収入	200	31,806	2,177	1,320	0	35,503
		教育活動収入合計(1)	201	1,112,842	871,386	693,842	76,087	2,754,358
	支出 出業の活動	人件費	33,106	619,686	499,835	452,215	51,826	1,656,668
		教育研究経費	46,234	358,298	317,040	198,265	42,802	962,639
		管理経費	13,365	62,811	53,771	18,562	1,095	149,604
徴収不能額等		0	1	1	0	0	2	
教育活動支出合計(2)		92,705	1,040,796	870,647	669,042	95,723	2,768,913	
教育活動収支差額(3)=(1)－(2)		△ 92,504	72,046	739	24,800	△ 19,636	△ 14,555	
教育活動外収支	収入 入業の活動	受取利息・配当金	5,020	100	100	0	0	5,220
		その他の教育活動外収入	0	0	1	0	0	1
		教育活動外収入合計(4)	5,020	100	101	0	0	5,221
	支出 出業の活動	借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出合計(5)	0	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額(6)=(4)－(5)		5,020	100	101	0	0	5,221	
経常収支差額(7)=(3) + (6)		△ 87,484	72,146	840	24,800	△ 19,636	△ 9,334	
特別収支	収入 入業の活動	資産売却差額	0	0	1	0	0	1
		その他の特別収入	0	1,000	1,003	1,000	600	3,603
		特別収入合計(8)	0	1,000	1,004	1,000	600	3,604
	支出 出業の活動	資産処分差額	0	2,000	6,000	600	0	8,600
		その他の特別損失	0	0	1	0	0	1
		特別支出合計(9)	0	2,000	6,001	600	0	8,601
特別収支差額(10)=(8)－(9)		0	△ 1,000	△ 4,997	400	600	△ 4,997	
【予備費】(11)		2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500	
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)－(11)		△ 89,484	66,146	△ 9,157	22,200	△ 19,536	△ 29,831	
基本金組入額合計(13)		△ 27,687	9,478	6,953	1,936	△ 488	△ 9,808	
当年度収支差額(14)=(12)+(13)		△ 117,171	75,624	△ 2,204	24,136	△ 20,024	△ 39,639	
前年度繰越収支差額(15)		—	—	—	—	—	△ 2,459,816	
基本金取崩額(16)		—	—	—	—	—	0	
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)		—	—	—	—	—	△ 2,499,455	
(参考)								
事業活動収入合計(1)+(4)+(8)		5,221	1,113,942	872,491	694,842	76,687	2,763,183	
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)		94,705	1,047,796	881,648	672,642	96,223	2,793,014	

富山国際大学

令和2年度学位記授与式、 令和2年度・3年度の合同入学式を挙



令和3年3月17日(金)に、富山国際会議場にて第28回学位記授与式を挙行し、216名が卒業しました。式典終了後には、本学卒業生のシンガーソングライターよしもとかよさんによる独唱「アオゾラ」がサプライズ披露され、感動的なシーンとなりました。

令和3年4月5日(月)に、富山国際会議場にて令和3年度新入生217名と編入生9名、及び令和2年度入学生(新2年生)の希望者38名で、第31回・第32回の合同入学式を挙行しました。高木利久学長から「新型コロナウイルスで世界中が危機に陥っている今こそ、じっくりと学び深く考えましょう」のお祝いの言葉に続き、現代社会学部の藤田永遠さん(富山国際大学付属高等学校出身)が、入学生を代表して宣誓を行いました。

上記式典は、新型コロナウイルス感染症対策として式典にご列席できないご家族へと、いずれもYouTubeライブの限定配信を行いました。

富山短期大学

図書館を活用することは、地域の未来を考えること

平成30年9月から始まった古本市のイベント企画は、通算5回を数え、多くの図書館司書課程履修者が携わってきました。池上勁氏(富山ユネスコ協会青年部)、前田二三夫氏(射水市竹内源造記念館)、本居淳一氏(ひらすま書房)をはじめ地域のみなさまには、いつも協力していただき、大変感謝しております。地域人との一期一会を大事にし、学生の地域への矜持につなげることが重要なことだと考えています。

また、地元の公共図書館を活用することは、地域の未来を考えることにつながります。図書館に行き、図書館資料を手取る過程で、図書館員(時には卒業生)との出会いも生まれます。図書館司書課程を通じて、考える時間、想像する機会、語り合う場を提供することは、我々の使命であると確信しています。



富山国際大学付属高等学校

新入生を迎えて



本校は令和3年4月8日(木)に、284名の新入生を迎え入学式を挙行しました。今年は、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行い、保護者の皆様方にもご列席いただいての入学式となりました。

倉田校長は式辞で、「英語とICTを言語として世界に羽ばたく、Independence、Intelligence、Internationalismの3つを兼ね備えた国際人になろう」と英語のスピーチを行いました。金岡理事長からは、「個性を思い切り伸ばし、新しい仲間と交流して国際人の一歩を踏み出してほしい」との激励がありました。そして、新入生代表の谷心那(たにここな・富山南部中学校出身)さんが、「周囲への感謝を忘れず、よき国際人になるため努力します」と力強く誓いの言葉を述べました。

定員を大きく超える284名の新入生に、1学年は2年ぶりの9クラス編成となりました。本校を選んできた生徒たちを国際人として最大限に成長させようと、教職員一同奮い立っています。

富山短期大学付属みどり野幼稚園

親子遠足、楽しいね!

令和3年4月23日(金)に、ファミリーパークで全園児が親子遠足を行いました。家族で参加する行事とあって、前日からとても楽しみにしていた子どもたち。当日は、青い空が広がる中で、オリエンテーリングを楽しみました。「一緒に行こう!」と子どもたち同士で誘い合ったり、チェックポイントを確認しながら「よし!次はクマを探そう!」「クマはどこにいる?」と家の人と地図を見ながら進んだり。動物たちをじっくり観察し、やぎの爪の形を夢中で確かめる姿もありました。互いに密を避けながらも、暖かな春の陽気のもと、「みんなと一緒に」の体験を十分に楽しむことができました。

